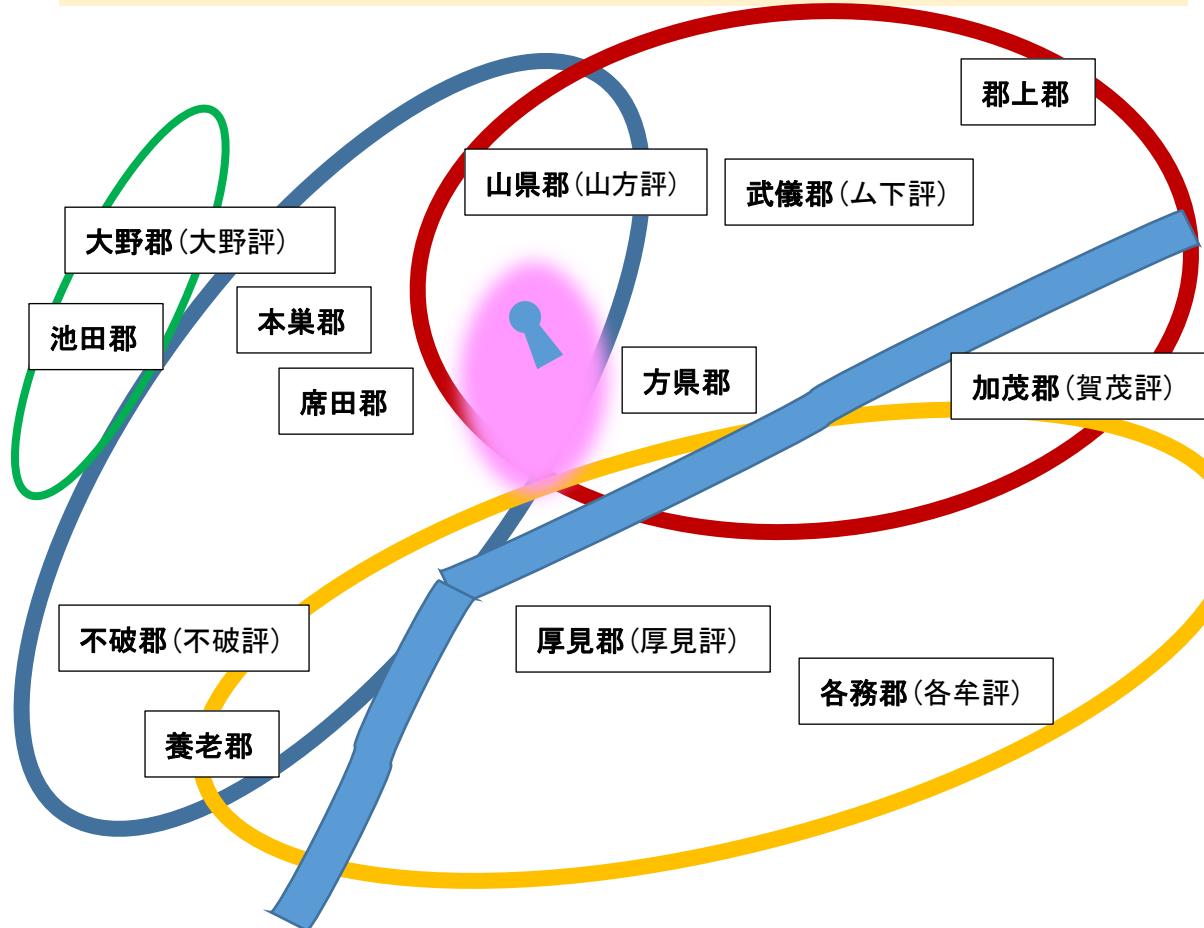


眉山と鎧塚

●眉山は、頼山陽が西粟野村に滞在した際に「眉を引いたように優美な山」と命名したもの。まさに秀麗。
 ●鎧塚古墳は、眉山山頂 231m(標高差約 207m)にある全長 82m の前方後円墳。琴塚古墳より古い 4 世紀後半に築造。

【発行:令和 7 年 12 月 21 日／企画編集:岩野田北まちづくりサロン内(仮称)眉山と鎧塚古墳を学ぶ会】

岐阜市史は、「鎧塚古墳は北部で最大の古墳でありながら、その独自の支配領域が明確でない特殊な古墳」としています。「ヤマトとの関係を持つことできる」有力な豪族の支配領域の明確な線引きは困難ですが、鎧塚古墳の被葬者を探る上で、当時の国造の実像に迫ることが重要な鍵を握ります。



●牟義都(ムゲツ)国造 祖先は日本武尊(ヤマタタケルノミコト)の兄・大碓皇子(オオウスノミコト)とされる。子孫の身毛広(ムゲツノヒロ)は、壬申の乱で活躍。

●三野前(みののさき)国造 開化天皇の孫にあたるとされる神大根王(カムオオミネノミコ)が、紀元前に国造に任じられたとされる。牟義都国造とも血縁関係。

●三野後(みののしり)国造 大国主大神(オオクニヌシノミコト)の孫の臣賀夫良命が紀元後に 任じられたとされる。物部氏と深く関係する。

【用語説明】

「国造(くにのみやつこ)」:地方を治めるため、主に地域豪族がヤマト王権から任じられた。
 「郡(こおり)」:大宝律令施行(701 年)以降の地方行政単位。「評(こおり)」はその前身で、大化の革新後、置かれた区画。木簡などで確認されるが、存在が不明な郡もある。

鎧塚古墳が築かれた四世紀後半頃の
国造の支配領域をイメージする

キャラクター
募集中!!



YOROI ちゃん



地域の歴史も学びながら…

MAYUりん

毎月第3日曜日、定例のまちづくりサロンに引き続き、「学ぶ会」の例会を開催しています。第4回目となる12月21日は、「村はいつ頃誕生した?」など岩野田地域と美濃国の歴史に始まり、「地域を支配した豪族」などをテーマに話し合いました。

また、例会直前に、山県市の大桑城が国指定史跡となつたことを情報共有しました。

【今後予定するテーマ】

- 有力豪族の系図
- 美濃国の古墳
- ヤマト王権とのつながり
- 行政による文化財の保護・活用の現況など



★鳥羽川が、栗野台の団地前を流れています。川に落ちて亡くなった馬を弔う馬頭観音を、栗野台南交差点の一角に見ることができます。



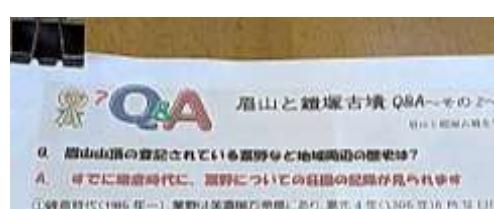
出典:岩野田小100周年記念誌

学ぶ会 每月第3日曜日 11時から岩野田北公民館で開催!!

前回の振り返りを兼ねて、会報を作成・配布(前回欠席者には前回資料も配布)。会報は、岩野田と岩野田北まちづくり協議会のHPにアップし、情報発信に努めています。今後は、現地見学や講座開催も計画中。



▲お菓子をつまみながら、くつろいだ雰囲気で1時間ほどの勉強会(R8.12.21)



▲みんなの疑問点を、Q&A方式の資料をもとに学び合います。

地域・年齢を問わず、皆さんの参加をお待ちしています。

12月19日、大桑城が国指定史跡へ答申!!



古城山山頂には、美濃国守護土岐氏の居館の大桑城の模擬城。
南には岐阜市が展望できる(R4.11.18撮影)

古城山(標高 407.5m)山頂一帯に築かれている大桑城跡は、美濃国守護土岐氏により築かれた山城跡と城下からなる遺跡。16世紀前半から中頃に機能した政治的空間と居住空間を備えた守護の拠点城郭であることが分かり、戦国時代における守護大名の本拠地の構造を知る上で重要な遺跡として評価されました。山県市長は、市初の国指定史跡を受けて、「次の世代へ確実に継承できるよう、より良い遺跡となるよう、保存・活用に取り組む」としています。



▲以前訪れた時の、山頂付近の発掘調査
(R4.11.18撮影)